

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）	
講義・演習（実習）	
1 職務の理解	6 時間
(1) 多様なサービスの理解	
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9 時間
(1) 人権と尊厳を支える介護	
(2) 自立に向けた介護	
3 介護の基本	6 時間
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	
(2) 介護職の職業倫理	
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	
(4) 介護職の安全	
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9 時間
(1) 介護保険制度	
(2) 障害福祉制度及びその他制度	
(3) 医療との連携とリハビリテーション	
5 介護におけるコミュニケーション技術	6 時間
(1) 介護におけるコミュニケーション	
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	
6 老化の理解	6 時間
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	
(2) 高齢者と健康	
7 認知症の理解	6 時間
(1) 認知症を取り巻く状況	
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	
(4) 家族への支援	
8 障害の理解	3 時間
(1) 障害の基礎的理解	
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	

実施計画				
カリキュラム名・時間数			実施内容	
1 職務の理解	6 時間			1 職務の理解
		通学	通信	合計
(1) 同左		3	0	3
(2) 同左		3	0	3
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9 時間			2 介護における尊厳の保持・自立支援
		通学	通信	合計
(1) 同左		1	5	6
(2) 同左		0.5	2.5	3
3 介護の基本	6 時間			3 介護の基本
		通学	通信	合計
(1) 同左		1	1	2
(2) 同左		0.5	0.5	1
(3) 同左		1	1	2
(4) 同左		0.5	0.5	1
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9 時間			4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
		通学	通信	合計
(1) 同左		1	3	4
(2) 同左		0.5	2	2.5
(3) 同左		0	2.5	2.5
5 介護におけるコミュニケーション技術	6 時間			5 介護におけるコミュニケーション技術
		通学	通信	合計
(1) 同左		1.5	1.5	3
(2) 同左		1.5	1.5	3
6 老化の理解	6 時間			6 老化の理解
		通学	通信	合計
(1) 同左		0	1	1
(2) 同左		3	2	5
7 認知症の理解	6 時間			7 認知症の理解
		通学	通信	合計
(1) 同左		1	0	1
(2) 同左		1	1	2
(3) 同左		1	1	2
(4) 同左		0	1	1
8 障害の理解	3 時間			8 障害の理解
		通学	通信	合計
(1) 同左		0	1	1
(2) 同左		1	0.5	1.5
(3) 同左		0.5	0	0.5

9 ころとからだのしくみと生活支援技術 75 時間	
ア 基本知識の学習	10~13時間
(1) 介護の基本的な考え方	
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
イ 生活支援技術の講義・演習	50~55時間
(4) 生活と家事	
(5) 快適な居住環境整備と介護	
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(9) 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(11) 睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(12) 死にゆく人に関したころとからだのしくみと終末期介護	
(実習)* (50~55時間中12時間以内)	
介護実習	○時間
ホームヘルプサービス同行訪問	○時間
在宅サービス提供現場見学	○時間
ウ 生活支援技術演習	10~12時間
(13) 介護過程の基礎的理解	
(14) 総合生活支援技術演習	
10 振り返り	4 時間
(1) 振り返り	
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	
追加カリキュラム	時間
計	( 130 時間 )

9 ころとからだのしくみと生活支援技術 75 時間			
ア 基本知識の学習	10 時間		
	通学	通信	合計
(1) 同左	2	0	2
(2) 同左	3	1	4
(3) 同左	3	1	4
イ 生活支援技術の講義・演習	53 時間		
	通学	通信	合計
(4) 同左	3.5	1	4.5
(5) 同左	3	0	3
(6) 同左	6.5	1	7.5
(7) 同左	6.5	2	8.5
(8) 同左	6.5	2	8.5
(9) 同左	6.5	2	8.5
(10) 同左	6.5	2	8.5
(11) 同左	2	0	2
(12) 同左	2	0	2
(実習)*	0 時間		
ウ 生活支援技術演習	12 時間		
	通学	通信	合計
(13) 同左	2	0	2
(14) 同左	10	0	10
10 振り返り	4 時間		
	通学	通信	合計
(1) 同左	3	0	3
(2) 同左	1	0	1
追加カリキュラム	時間		
計	( 130 時間 )		

9 ころとからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習	
(1) 理論に基づいた介護や法的根拠に基づく介護を講義で学ぶ	
(2) 学習と記憶や感情と意欲に関する基礎知識や老化や障害を受け入れる適応行動と阻害要因を講義と通信で学ぶ	
(3) 健康チェックとバイタルサイン、骨・関節筋肉に関する基礎知識や中枢神経系や自立神経、体性神経に関する基礎知識を講義と通信で学ぶ	
イ 生活支援技術の講義・演習	
(4) 衣食住の環境整備や家事援助の基礎知識や技法やグループに分かれてベッドメイキングの基礎知識と技法を講義と演習または通信で学ぶ	
(5) 高齢者に必要な住まいの性能や介護保険による住宅改修や福祉用具に関する基礎知識を講義で学ぶ	
(6) グループに分かれて、更衣洗面介助方法の講義と演習または通信で学ぶ	
(7) 自立支援や残存能力の活用や移動・移乗介助をグループに分かれて講義と演習または通信で学ぶ	
(8) 食事に関する基礎知識や食事環境の整備や用具の活用、食事介助の実技演習または通信で学ぶ	
(9) 入浴や清潔の意味や環境整備、入浴や清拭を講義と演習または通信で学ぶ	
(10) 排泄の意味や環境整備、排泄介助の実技演習、講義または通信で学ぶ	
(11) 睡眠に関する基礎知識や睡眠環境と用具の活用、安楽や体位を演習と講義で学ぶ	
(12) 終末期に関する基礎知識、生から 生から死への課程と苦痛の少ない死への支援等々を講義で学ぶ	
(実習)*	
ウ 生活支援技術演習	
(13) 科学的思考と介護過程、介護過程の展開に必要な個別援助計画の作成を講義で学ぶ	
(14) 事例検討を通して一連の生活支援を提供する流れを検討し、支援技術の実技演習、支援課題等を発表する。	
10 振り返り	
(1) 演習や講義を通して学んだ事を振り返り、再確認を行う	
(2) 介護職のキャリアにつながるOJTを講義にて学ぶ	
追加カリキュラム	時間
計	( 130 時間 )